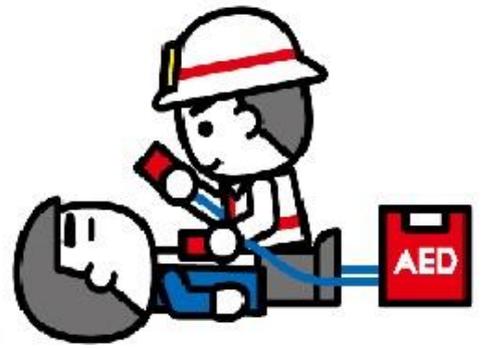


～もしものための応急手当～

心肺蘇生法の手順



倒れている人を見かけたら、まずはこの手順に従って救護しましょう。

1.肩を叩きながら呼びかける



大丈夫ですか？

2.反応が無かったら、大きな声で助けを呼ぶ



誰か来て！人が倒れています！

協力者がいない時は自分で 119 番通報をする

協力者が来たら

「あなた 119 番通報してください!!」
「あなた AED を持ってきてください!!」

3.呼吸の確認をする



「**普段どおりの呼吸**」をしているかどうかを確認します。

4. 普段通りの呼吸が無かったらすぐに胸骨圧迫を開始



胸の真ん中を、重ねた両手で

「**強く、早く、絶え間なく**」 圧迫します。



垂直に圧迫する

5. 胸骨圧迫の後、すぐに人工呼吸を2回おこなう



空気の通り道を作る
(頭部後屈あご先挙上法)

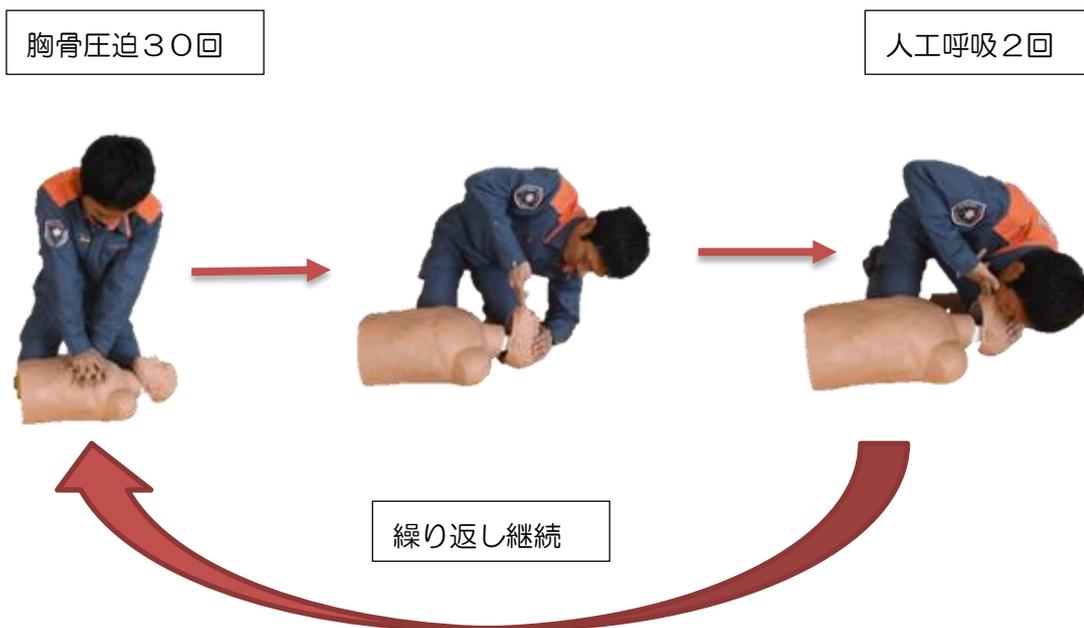


胸が持ち上がるのを確認する

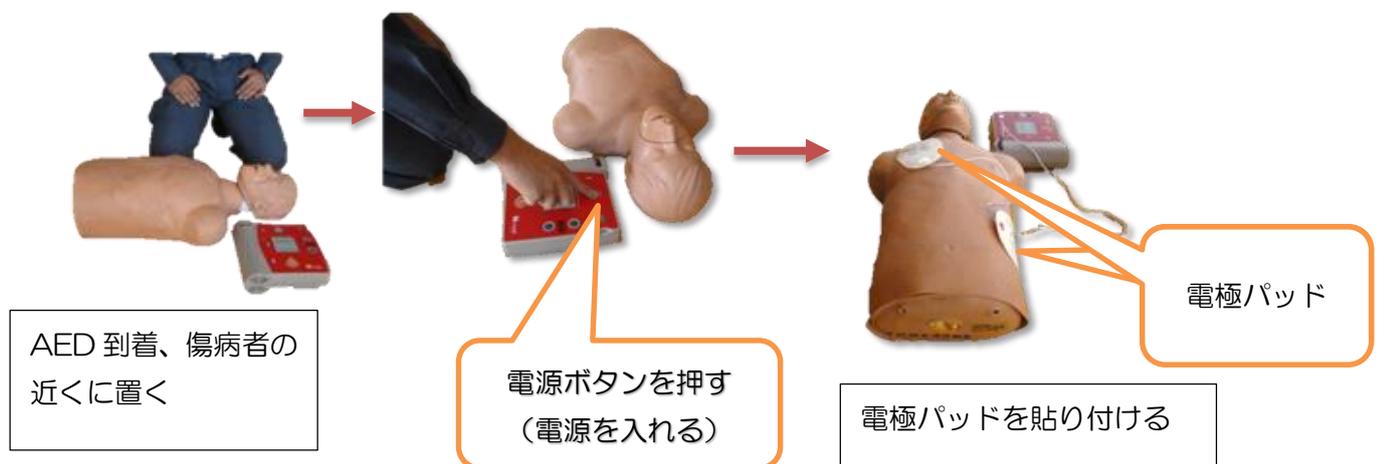
次の場合には人工呼吸を省略し、胸骨圧迫のみを
実施して救急隊の到着を待って下さい。

- 傷病者が口や顔面から出血している、または嘔吐などがある場合
- 人工呼吸用のマスクなどを持っておらず直接の人工呼吸がためられる場合

6.胸骨圧迫と人工呼吸を繰り返し続ける



7.AEDの到着、準備



8.心電図の解析、電気ショック

みなさん、離れて!!



電極パッドを貼り付けると“体に触れないでください”などの音声メッセージが流れ、自動的に心電図の解析が始まります

ショックボタンを押す

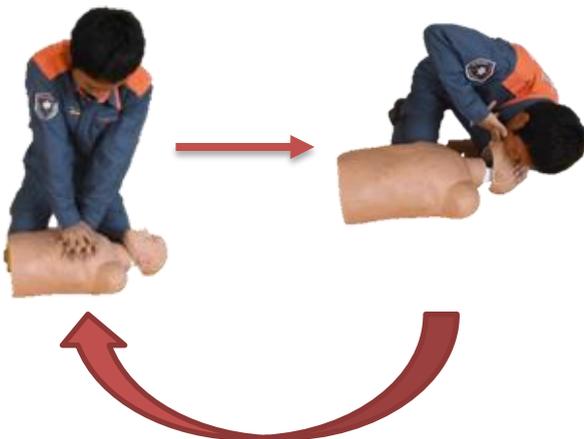


● AED が電気ショックを加える必要があると判断すると”ショックが必要です”などの音声メッセージが流れ、自動的に充電が始まります。

- 充電が完了すると、“ショックボタンを押してください”などの音声メッセージが出て、ショックボタンが点灯し、充電完了の連続音が出ます。
- 充電が完了したら、「ショックを行います。みなさん、離れて!!」と注意を促し、**誰も傷病者に触れていないことを確認**して、ショックボタンを押します。

9.AEDと心肺蘇生の繰り返し

電気ショックが完了すると、“ただちに胸骨圧迫を開始してください”などの音声メッセージが流れますので、これに従って、ただちに胸骨圧迫を開始します。



心肺蘇生を開始して2分ほど経ったら、再び、AEDが自動的に心電図の解析を行います。音声メッセージに従ってください。

